

日本で初めて清掃用のモップを作り、世に広めた清掃器具製造の日之出（豊橋市錦町）。主婦から社長に転身した5代目の松本百合子社長（56）は、使用済み繊維を再利用したモップを開発し、日本初のエコマークを取得。独自の製品を生み出している。（聞き手・佐藤 あい子）

社を語る

「モップが誕生したいさつは？」
 創業者が米国で商社に勤務していた。又、現地でモップを知り「売れる」と確信したようです。帰国し、一九二〇年都内で創業。日

日之出 松本百合子社長(56)



「独自の商品で、生活をより快適にしたい」と話す松本百合子社長（豊橋市錦町）

初のエコマークモップ

本を中心にあり、繊維の折れません。特許を取得しただった豊橋市内で製造を開始した。製造方法は企業秘密めました。戦後は、ワックア付きのモップも手がけ、幅を広げました。

「なぜエコマーク取得を。」

「製品の特長は？」
 四代目の夫が開発した業界初の「週間後に四代目のンドレス糸です。五十回洗っても、糸がばらけず、切よ、社長になりました。そこでできました。」

「一年かけて使用済みの繊維でモップを再生。日本環境協会の厳しい審査を通過作りたかったんです。」

「ホテルや自動車関連企業など約四百社と取引があります。ただ、レンタル業者全体で見ると、使い捨ての簡単な掃除用剤が出回り、業者数は減っています。」

「健康や癒やしをテーマとした生活の不便を改善できる製品を作り続けたいです。」

「新商品の発想は？」
 誰でも発言できるアイデアボックスを置いています。一回出せば五百円。採用されると二千五百円の賞金。商品名も社員の力作です。」

「原油価格の高騰や安い繊維の大量輸入に不安は？」
 「百種類以上の商品を扱っているレンタル会社は数二十八人。日之出 一九二〇年、東京都内で創業。七九年、製造工場があった豊橋市錦町に拠点を移す。関連会社はレンタル業のダストクリーン（同所）とレンタル用マツト製造の日之出テックス（同市東脇）。資本金一千万円、二〇〇五年の売り上げは六億八千万円。従業員